

2024 The first half of the year 2024年度上半期 業績のご報告 DISCLOSURE



幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

理事長 あいさつ

幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

理事長 小野澤 一成
Onozawa Kazunari



日本は世界有数の「雪大国」です。積雪量も降雪量も世界一の記録を持っています。日本の中でも「豪雪地」として知られた「魚沼地方」に私どもは暮らしています。雪国の人はよく「我慢強い」「辛抱強い」と言われます。環境が厳しいからこそ、暮らす人々の心は温かく、助け合いの精神が宿っています。今まさに『共助』の必要性が叫ばれています『共助』の代表的存在は、協同組織の「信用組合」です。信用組合は助け合いの象徴的存在です。

この豪雪地から誕生した「ゆきぐに信用組合」は、まさにそのシンボリック的存在として、誕生から1年が経ちました。

地元の人々は「ゆきしん」と聞くと、「あ～あのいつでも相談に乗ってくれる」「あの困っている事業者を助けてくれる」「あの弱い者の味方のしんくみさん」と形容して呼んでくれます。

本当にありがたいです。まず「ゆきしん」の知名度を上げることが、私ども役職員に課せられた使命でした。わずか1年ですが、かなりの浸透度を達成することができました。

この時期になると「雪」は丁度良く降って欲しいと願います。多すぎても少な過ぎても“災害”となります。雪国に雪が無いことは全てに影響します。冬場の観光へ除雪業者の雇用へ、そして夏のコメ作りにも多大な影響を及ぼします。

JPCZ「日本海寒帯気団収束帯」に注意が必要です。いわゆる「ドカ雪」を降らせます。日本は災害大国です。いかに普段からその備えをしておくかが重要であり、そのための備えは忘れてはなりません。

備えは、日々の積み重ねであり「常在戦場」の心構えと言えます。

日々のこの精神を土台に将来に向かって蓄えることが、100年信組を目指す上で私どもが大切にしていることです。

幸せのYuki-Shin は、『職員良し、お客様良し、地域良し』の、三方良しをモットーにますます地元で愛される信用組合を目指してまいります。更なるご愛顧を賜りますことを宜しくお願い申し上げます。

以 上



(自:2024年4月1日~至:2024年9月30日)

1. 事業の概況

通常「4月1日」に新入職員の「入組式」を行います。当組合の場合は、4月29日(祝)に保護者同席のもとで実施しました。

当日は、春の「職員大会」が開催され、職員全員が一堂に会した中で、「新入職員」は、全員から祝福され、一気に全部店の職員の仲間入りをしました。

4月8日(月)は、1都9県の全金融機関を監督する「関東財務局」から局長がトップヒアリングにお越しくださいました。多分、信金信組業界では、当組合だけだと思いますが、「局長ヒアリング先」として指名されるようになり、今回で「6人目」の局長訪問となりました。

4月3日(水)に「小千谷市」との個別連携協定を締結し、これで地元7自治体との連携協定がすべて完了しました。

4月15日(月)は、湯沢町へ「コンパクトゴミハウス」を贈呈しました。

4月19日(金)は、十日町市へ「コンパクトゴミハウス」を贈呈しました。

4月22日(月)は、『地域安全見守り隊』の結成式を実施しました。

ゆきしんの営業職員と、車両20台を一堂に集めて、南魚沼警察署と連携自治体の職員を交えて『安全運転宣言』と車両点検を実施し、もしも事故に遭遇した時の対応等を学びました。地域安全見守り隊のマグネットシールを全車両に貼り付けて、普段の営業活動の中で地域の「子どもやお年寄りの安全見守り機能」を担っている事を全員で確認しました。

5月の「総代地区会議」では期末決算のご報告と通常総代会への出席要請並びに組合運営に関しての「質疑応答」を実施させていただきました。

5月29日(水)に開催された当組合「融資取引先」のバンクミーティングでは、最悪の事態となることが経営者側から発表されました。3月以降再三にわたり改善計画について話し合ってきたのですが、ここに来て事態が急変することになりました。

6月25日の「通常総代会」へは、決算期後に生じた重要な事項として「中小企業の事業再生等に関するガイドライン」に基づく「廃業型私的整理手続きの申出の事象」が発生したことを追加の報告事項としました。

9月末の仮決算でこの事象に関する個別貸倒引当金を全額引き当てることと、そのことにより、令和7年3月期に当期利益金「83百万円」としているが大きく下振れることをご説明申し上げました。

当日は「総代退任式」として永年当組合へ貢献して下さった方々へ「感謝状」と記念品をお渡ししました。「総代懇親会」では、新総代の皆様をご紹介します。総代の平均年齢は「54歳」と若返りました。

7月4日「地域同期会・第3回」、7月5日「トレイン同期会・第1回」はマスコミから大変注目され新聞テレビに取り上げていただきました。

7月12日(金)に開催した「こむすびりノベ36」普及促進大会並びに提携事業者への認定証交付式は、新潟県から大変注目されている事業で、地元自治体との連携により、この雪国から「中古住宅市場」を立ち上げ、ゆくゆくは「中古車市場」のように発展させていきたいと考えています。

7月20日(土)に地域と一体となった「防災訓練」「救命救急訓練」「消火訓練」を実施しました。当組合には停電時の「非常電源装置」が全部店に完備されており、いざという時には、地域の避難所として機能するべく、毎年地域と一体となった「防災訓練」を実施しております。

毎月15日を「スマホの日」と定めています。当組合の職員が窓口で簡単なスマホの操作を教えてくれるということで大変好評をいただいております。

7月22日(月)企業の人手不足を補う意味で「マッチボックス活用セミナー」を定員20名にて実施しました。

8月18日(日)「信組ゆきぐに奨学金」で支援する高校生を対象に「思い出づくり日帰りバスツアー」を実施、奨学生とその家族の計16人が参加し、親子で夏休み中の大切な思い出ができました。

8月22日(木)「地元企業見学ツアー」がゆきぐにの未来基金の奨学生とその卒業生を加えて将来の職業選択の視野を広げることを目的に実施しました。

9月3日(火)には、「くみの日週間」のボランティア清掃と地元警察署と地域住民と一体となって「防犯訓練」「特殊詐欺防止訓練」を実施しました。

思わぬ「凶悪犯罪」が白昼堂々で行われる昨今、職員とお客様の「身の安全」が何よりも優先することを全員で確認しました。

9月9日と10日に「新潟青陵大学」の学生15人と先生3人の計18人を「コミュニティビジネス実習」として受け入れました。

今まで単独で進めてきた各種事業ですが、今年は、地元自治体と一緒に進めています。連携を取ることで、職員相互の交流が図れたり、単独開催以上の相乗効果が期待できたりしています。

人手不足倒産や連鎖倒産が懸念される中、いかに最小のリスクに抑えるかということが重要な課題であり、自治体のみならず商工団体とも連携を強化することにより情報量も増え、迅速に対応できることになると考えています。

9月末現在の状況ですが、既存融資事業先と一緒に再生に取組み、経営内容が改善した取引先もありますが、対応が間に合わないで悪化した先もあります。「3か月先の資金繰り確認」と「6か月先行自己査定」を行いながら取引先の信用状態を少しでも早く察知できるように努めています。

11月に「独自の景況感調査」を行い、年明けからのガソリン初めの燃料価格の高騰と「人手不足」からくる「賃金上昇」等へどのように対応するか、特に冬場の降雪量の状況に応じた見込などを確認する予定です。

私ども「ゆきしん」は、地元事業者から、信頼され頼られる存在となるために地元に密着した取組みを更に継続してまいります。引き続きのご支援を賜りますことをお願い申し上げ、半期の『事業報告』とさせていただきます。

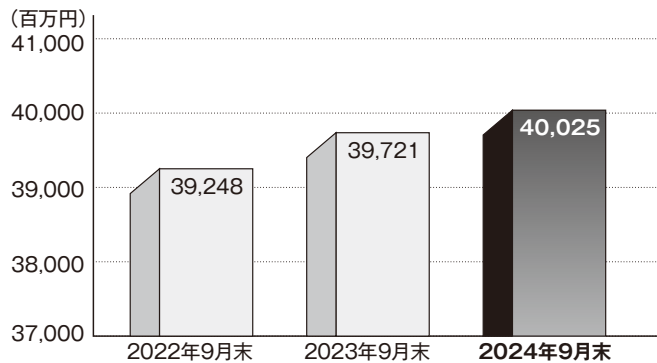
以 上

2024年度「半期決算」の報告

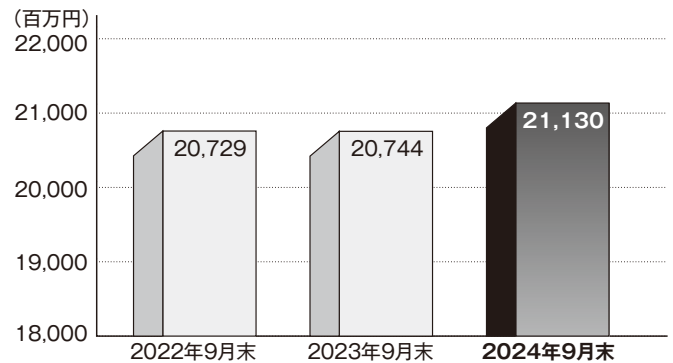
(自：2024年4月1日～至：2024年9月30日)

主要勘定の推移

預積金残高

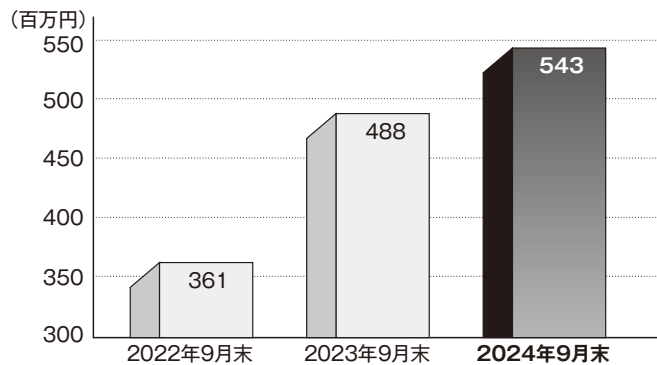


貸出金残高

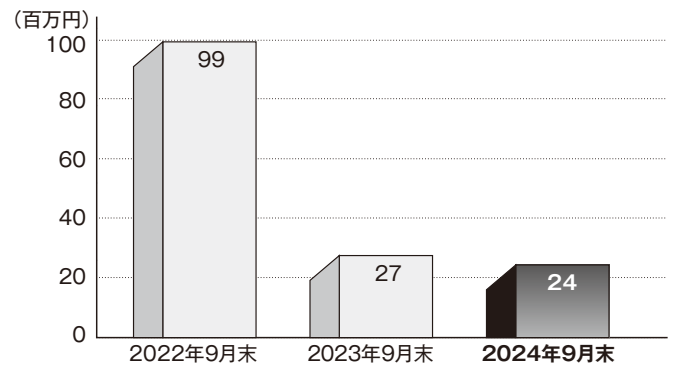


収益等の推移

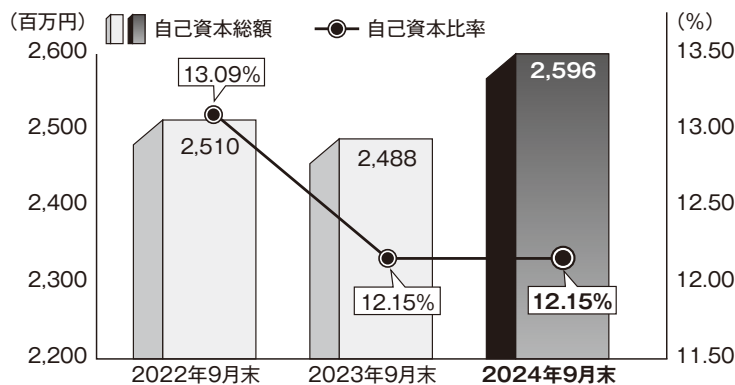
経常収益



当期純利益



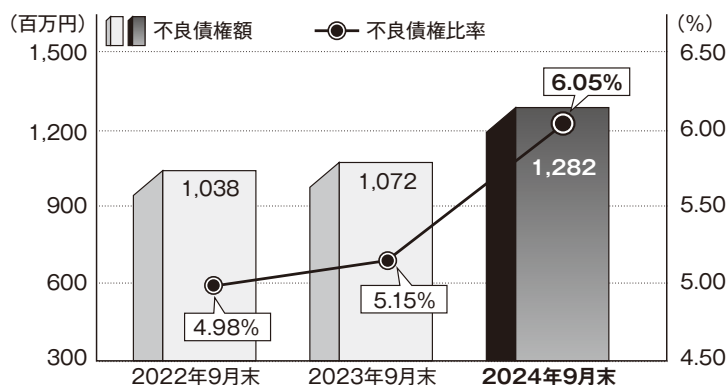
自己資本比率・自己資本額の推移



着実に利益を計上してきており、中小企業向け貸出等が増加したことにより、自己資本比率は横ばいとなりましたが、自己資本の額は順調に積み増しされております。自己資本比率は、国内のみで業務を行う金融機関は4%以上の水準が求められておりますが、当組合は国際基準でもある8%を大幅に超え、高い健全性が確保されております。

※リスクアセット上の自己資本総額となります

不良債権比率・不良債権額の推移



期中に不良債権が発生し、不良債権額・不良債権比率はともに増加しております。2024年度下期の重点課題として、事業改善支援を進めてきており、既存融資先の業況悪化防止に全力で取り組んできております。今後も、融資先の業況を確認しながら先手先行で対策を講じ、既存融資先の事業の改善に向けて取り組んでまいります。

2024年度「半期決算」の報告

(自：2024年4月1日～至：2024年9月30日)

資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2023年9月	(B) 今期予算 2024年9月	(C) 今期実績 2024年9月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	318	450	447	▲ 3	129
預 け 金	15,404	13,252	14,858	1,606	▲ 546
有 価 証 券	5,572	6,616	5,944	▲ 672	372
貸 出 金	20,744	20,792	21,130	338	386
そ の 他 資 産	359	345	315	▲ 30	▲ 44
有 形 固 定 資 産	459	442	447	5	▲ 12
無 形 固 定 資 産	4	3	3	0	▲ 1
繰 延 税 金 資 産	27	12	16	4	▲ 11
債 務 保 証 見 返	47	61	61	0	14
貸 倒 引 当 金	▲ 586	▲ 591	▲ 802	▲ 211	▲ 216
資産の部合計	42,351	41,382	42,422	1,040	71

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2023年9月	(B) 今期予算 2024年9月	(C) 今期実績 2024年9月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	39,721	38,624	40,025	1,401	304
借 用 金	0	0	0	0	0
そ の 他 負 債	99	95	81	▲ 14	▲ 18
各 種 引 当 金	89	99	96	▲ 3	7
繰 延 税 金 負 債	0	0	0	0	0
債 務 保 証	47	61	61	0	14
負債の部合計	39,957	38,879	40,265	1,386	308
(純 資 産 の 部)					
出 資 金	395	393	393	0	▲ 2
利 益 剰 余 金	2,053	2,110	2,080	▲ 30	27
利 益 準 備 金	393	393	391	▲ 2	▲ 2
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,659	1,717	1,688	▲ 29	29
当 期 未 処 分 剰 余 金	130	202	172	▲ 30	42
その他有価証券評価差額金	▲ 53	0	▲ 317	▲ 317	▲ 264
純資産の部合計	2,394	2,503	2,156	▲ 347	▲ 238
負債及び純資産の部合計	42,351	41,382	42,422	1,040	71

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2023年9月	(B) 今期予算 2024年9月	(C) 今期実績 2024年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
経 常 収 益	488	370	543	173	55
資 金 運 用 収 益	415	290	311	21	▲ 104
貸 出 金 利 息	219	223	229	6	10
預 け 金 利 息	7	11	13	2	6
有価証券利息配当金	179	48	60	12	▲ 119
その他の受入利息	8	8	7	▲ 1	▲ 1
役務取引等収益	14	14	14	0	0
その他の業務収益	58	1	97	96	39
国債等債券売却益	56	0	95	95	39
その他の業務収益	1	1	1	0	0
その他の経常収益	0	63	119	56	119
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0
株式等売却益	0	63	119	56	119
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	440	293	503	210	63
資 金 調 達 費 用	4	7	8	1	4
預 積 金 利 息	4	7	8	1	4
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	10	10	10	0	0
その他の業務費用	128	24	24	0	▲ 104
国債等債券売却損	127	24	24	0	▲ 103
国債等債券償還損	0	0	0	0	0
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経 費	269	251	247	▲ 4	▲ 22
人 件 費	147	146	144	▲ 2	▲ 3
物 件 費	117	99	99	0	▲ 18
税 金	4	4	3	▲ 1	▲ 1
その他の経常費用	28	0	212	212	184
貸倒引当金繰入額	22	0	210	210	188
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
その他の経常費用	6	0	1	1	▲ 5
経 常 利 益	47	76	39	▲ 37	▲ 8
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	47	76	39	▲ 37	▲ 8
法人税、住民税及び事業税	19	22	15	▲ 7	▲ 4
法 人 税 等 調 整 額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	27	54	24	▲ 30	▲ 3
前 期 繰 越 金	103	148	148	0	45
当 期 未 処 分 剰 余 金	130	202	172	▲ 30	42

2024年度(2025年3月末)「決算」の見込

(自：2024年4月1日～至：2025年3月31日)

資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2024年3月	(B) 今期予算 2025年3月	(C) 今期見込 2025年3月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	412	450	450	0	38
預 け 金	13,697	12,116	13,400	1,284	▲ 297
有 価 証 券	5,848	7,385	5,944	▲ 1,441	96
貸 出 金	20,500	21,000	21,000	0	500
そ の 他 資 産	345	345	309	▲ 36	▲ 36
有 形 固 定 資 産	454	429	432	3	▲ 22
無 形 固 定 資 産	3	3	3	0	0
繰 延 税 金 資 産	12	12	16	4	4
債 務 保 証 見 返	62	60	60	0	▲ 2
貸 倒 引 当 金	▲ 591	▲ 591	▲ 660	▲ 69	▲ 69
資産の部合計	40,746	41,209	40,954	▲ 255	208

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2024年3月	(B) 今期予算 2025年3月	(C) 今期見込 2025年3月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	38,022	38,522	38,570	48	548
借 用 金	0	0	0	0	0
そ の 他 負 債	95	95	81	▲ 14	▲ 14
各 種 引 当 金	96	102	96	▲ 6	0
繰 延 税 金 負 債	0	0	0	0	0
債 務 保 証	62	60	60	0	▲ 2
負債の部合計	38,278	38,779	38,807	28	529
(純 資 産 の 部)					
出 資 金	391	392	393	1	2
利 益 剰 余 金	2,067	2,138	2,071	▲ 67	4
利 益 準 備 金	393	392	391	▲ 1	▲ 2
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,673	1,746	1,680	▲ 66	7
当 期 未 処 分 剰 余 金	144	230	164	▲ 66	20
その他有価証券評価差額金	9	▲ 100	▲ 317	▲ 217	▲ 326
純資産の部合計	2,468	2,430	2,147	▲ 283	▲ 321
負債及び純資産の部合計	40,746	41,209	40,954	▲ 255	208

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2024年3月	(B) 今期予算 2025年3月	(C) 今期見込 2025年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
経 常 収 益	874	683	857	174	▲ 17
資 金 運 用 収 益	717	587	606	19	▲ 111
貸 出 金 利 息	442	448	457	9	15
預 け 金 利 息	16	23	31	8	15
有価証券利息配当金	246	108	109	1	▲ 137
その他の受入利息	11	8	8	0	▲ 3
役 務 取 引 等 収 益	27	29	30	1	3
そ の 他 業 務 収 益	80	4	100	96	20
国 債 等 債 券 売 却 益	76	0	95	95	19
そ の 他 の 業 務 収 益	4	4	4	0	0
そ の 他 経 常 収 益	48	63	119	56	71
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0	0	0	0	0
株 式 等 売 却 益	48	63	119	56	71
そ の 他 の 経 常 収 益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	798	565	814	249	16
資 金 調 達 費 用	9	15	22	7	13
預 積 金 利 息	9	15	22	7	13
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 支 払 利 息	0	0	0	0	0
役 務 取 引 等 費 用	21	21	21	0	0
そ の 他 業 務 費 用	128	25	27	2	▲ 101
国 債 等 債 券 売 却 損	127	25	24	▲ 1	▲ 103
国 債 等 債 券 償 還 損	0	0	3	3	3
そ の 他 の 業 務 費 用	0	0	0	0	0
経 費	531	504	494	▲ 10	▲ 37
人 件 費	296	298	291	▲ 7	▲ 5
物 件 費	230	202	198	▲ 4	▲ 32
税 金	4	4	4	0	0
そ の 他 経 常 費 用	107	0	247	247	140
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	80	0	68	68	▲ 12
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
株 式 等 売 却 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 経 常 費 用	27	0	179	179	152
経 常 利 益	76	118	42	▲ 76	▲ 34
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 損 失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	76	118	42	▲ 76	▲ 34
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	23	35	26	▲ 9	3
法 人 税 等 調 整 額	11	0	0	0	▲ 11
当 期 純 利 益	41	83	15	▲ 68	▲ 26
前 期 繰 越 金	103	148	148	0	45
当 期 未 処 分 剰 余 金	144	231	164	▲ 67	20

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

(金額単位：千円)

区 分	年 度 別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D) = (B) + (C)	保全率 (D) / (A)	貸倒引当金引当率 (C) / (A) - (B)
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	2022年9月	28,818	4,672	24,146	28,818	100.00 %	100.00 %
	2023年9月	87,549	33,373	54,176	87,549	100.00 %	100.00 %
	2024年9月	330,133	90,469	239,664	330,133	100.00 %	100.00 %
危 険 債 権	2022年9月	646,269	211,043	428,448	639,492	98.95 %	98.28 %
	2023年9月	709,670	212,937	489,669	702,606	99.00 %	98.58 %
	2024年9月	689,876	235,547	424,469	660,016	95.67 %	93.43 %
要 管 理 債 権	2022年9月	363,627	83,687	41,067	124,754	34.31 %	11.29 %
	2023年9月	275,738	63,232	26,591	89,823	32.58 %	12.51 %
	2024年9月	262,896	58,167	57,043	115,210	43.82 %	27.86 %
不 良 債 権 計	2022年9月	1,038,715	299,403	493,662	793,065	76.35 %	47.52 %
	2023年9月	1,072,957	309,542	570,436	879,978	82.01 %	74.72 %
	2024年9月	1,282,906	384,183	721,176	1,105,359	86.16 %	80.24 %
正 常 債 権	2022年9月	19,780,046					
	2023年9月	19,751,677					
	2024年9月	19,930,917					
合 計	2022年9月	20,818,761					
	2023年9月	20,824,635					
	2024年9月	21,213,823					

不良債権比率

2022年9月	4.98 %
2023年9月	5.15 %
2024年9月	6.05 %

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的

(金額単位：百万円)

項 目		2023年9月			2024年9月		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	債 券	100	103	3	195	196	0
	国 債	100	103	3	195	196	0
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	200	207	7
	小 計	100	103	3	395	403	7
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	債 券	302	300	▲ 2	401	387	▲ 13
	国 債	302	300	▲ 2	401	387	▲ 13
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	その他	700	599	▲ 101	600	513	▲ 86
	小 計	1,002	899	▲ 103	1,001	900	▲ 100
合 計		1,102	1,002	▲ 100	1,397	1,303	▲ 93

3. 時価評価されていない有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2023年9月 貸借対照表計上額	2024年9月 貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券	15	15
非 上 場 株 式	15	15
非 上 場 外 国 証 券	-	-

2. その他有価証券

(金額単位：百万円)

項 目		2023年9月			2024年9月		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	323	512	189	464	548	83
	債 券	200	220	20	-	-	-
	国 債	200	220	20	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	その他	291	372	81	503	524	20
	小 計	814	1,104	290	968	1,072	104
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	25	18	▲ 7	235	221	▲ 14
	債 券	2,594	2,328	▲ 266	2,592	2,264	▲ 327
	国 債	1,791	1,565	▲ 226	1,792	1,500	▲ 291
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社 債	803	763	▲ 40	800	764	▲ 35
	その他	1,076	1,005	▲ 71	1,052	973	▲ 79
	小 計	3,695	3,351	▲ 344	3,881	3,459	▲ 421
合 計		4,509	4,455	▲ 54	4,849	4,531	▲ 317

■ 地域貢献に関する情報開示

地域に貢献するゆきしんの経営姿勢

当組合は、「ゆきぐに」を持続可能な地域にするために地域全体で連携協力しながら金融サービスだけでなく、さまざまな形で地域の課題に取り組んでおります。

「ゆきしん」は、地元の中小零細事業者や住民が組合員となってお互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるきめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりを奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業 種 別	2023年9月		2024年9月	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	1,962	9.5	1,921	9.1
建 設 業	1,461	7.0	1,500	7.1
卸 売 ・ 小 売 業	2,588	12.5	2,410	11.4
各 種 サ ー ビ ス 業	5,111	24.6	5,036	23.8
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,549	7.5	1,688	8.0
小 計	12,671	61.1	12,556	59.4
地 方 公 共 団 体	2,601	12.5	3,100	14.7
個 人 (住 宅 ・ 消 費 ・ 納 税 資 金 等)	5,471	26.4	5,473	25.9
合 計	20,744	100.0	21,130	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

中小企業等金融円滑化に関する取組み

私どもの「融資」は、不安を解消し、安心を提供するものであると考えております。『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』と言い切ります。貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終わるまで、とことん面倒を見る「永続伴走型」の支援を信条としております。

小さいものや力の弱い者の味方として力を貸す。世のため人のための信用組合として「保証づけ」や「過剰融資」により負担を強いられている企業を支援してまいります。

金融機関との付き合い方が優先する時代ではなく、本業に関するアドバイスなど、しっかり事業者のための支援をしてくれる「金融機関」を選ぶ時代です。

私どもは「選ばれる金融機関」になるために、キャッシュフローを導き出して、事業者が本業に傾注出来るご支援を徹底してまいります。



2024年9月5日 小田原第一信用組合F5講演会

■ 顧客の組織化と活動実績



■ 第3回・地域同期会

地域で働く若手従業員が「年の離れた上司に職場内で悩みが言えない」「同世代の同僚がいなく悩みを打ち明けられない」ことで孤立し、最悪の場合離職してしまう事例が相次いでいます。地元企業の大切な「人財」の心理的安全性を確保できる場を提供し、各地域の魅力や課題を見つめつつ、地元企業従業員様・自治体職員様・当組合職員が担当間でいつでも連絡できる密な関係を構築することを目指し開催いたしました。



■ ゆきしん版こむすびりノベ36普及促進大会

昨今の建築価格の高騰により、地元の中古住宅の購入・リノベーション需要の高まりを受け、ゆきしんでは中古住宅の購入とリノベーションに特化した「こむすびりノベ36」を発売しました。この住宅ローンは、地元の優良建築業者様によるリノベーション施工を条件とし、最長36年の長期固定金利の安心を提供する住宅ローンです。若者の地元定住と地元建築産業の振興を同時に実現することが目的です。

また、7月12日（金）塩沢公民館にて、“「ゆきしん版こむすびりノベ36」普及促進大会 “「こむすびりノベ36」「家庭円満51」認定証交付式”を行いました。県が主導する「こむすび住宅」と地域課題である「空き家問題」、若者ニーズである「中古住宅」を結んだ取組であり、集まった行政関係者・建築業者・不動産関係者らで今後の展開を確認しました。



2024年度上半期「外部機関との連携」「文化的・社会的貢献・地域貢献」に関する活動

4/ 4 (木)	「ハイウェイ大使委嘱式」(万代シルバー) 職員3名出席
4/22 (月)	「地域安全見守り隊」結成式
5/13 (月)	「総代地区会議」(津南地区) 会場「津南町商工会」
5/13 (月)	「総代地区会議」(石打地区) 会場「湯沢公民館」
5/13 (月)	「総代地区会議」(本店地区) 会場「塩沢商工会」
5/14 (火)	「総代地区会議」(五日町地区) 会場「大巻地区開発センター」
5/14 (火)	「総代地区会議」(小出郷地区) 会場「小出ボランティアセンター」
6/ 3 (月)	「全店ボランティア清掃」6月～9月実施
6/ 9 (日)	「第15回・南魚沼グルメマラソン」 (ボランティア12名)
6/25 (火)	「通常総代会」(塩沢公民館・講堂) 「ゆきぐにの未来基金報告会」 「総代退任式」(塩沢公民館)
7/ 4 (木)	「地域同期会・第3回」(3地区同時開催) *「魚新」と「グリンピア津南」(2会場オンライン中継)
7/ 5 (金)	「トレイン同期会・第1回」 ほくほく線連携事業 南魚沼市、湯沢町、十日町市合同開催
7/12 (金)	「ゆきしん版こむすびリノベ36」普及促進大会 「こむすびリノベ36」「家庭円満51」締結式(塩沢公民館)
7/20 (土)	「緊急連絡網」「防災訓練」「救急法講習会」
7/22 (月)	「南魚沼マッチボックス活用セミナー」 会場「南魚沼市事業創発拠点 MUSUBIーBA」
7/30 (火)～ 8/ 6 (火)	「海外派遣研修事業」 参加：ゆきしん職員代表「岸野真弓」
9/ 3 (火)	地域防犯訓練(本店・津南支店)
9/ 7 (日)	第23回塩沢商工会長杯・ゆきぐに信用組合理事長杯 合同少年野球大会
9/ 9 (月)～ 9/10 (火)	新潟青陵大学コミュニティビジネス実習 (職員5名)



「ゆきしん版こむすびリノベ36」普及促進大会
「こむすびリノベ36」「家庭円満51」締結式



地域防災訓練



「海外派遣研修事業」



第23回塩沢商工会長杯・ゆきぐに信用組合理事長杯
合同少年野球大会



新潟青陵大学コミュニティビジネス実習

■ 地域を応援する取り組み



トレイン同期会

“地元企業”“地元自治体”“北越急行”“ゆきぐに信用組合”が連携して、ローカル線の活性化と若者の離職防止を目的として「トレイン同期会」を実施いたしました。20歳～37歳の若手職員44名が集まり、地域の課題や魅力を見つめながら、地元で働く地元従業員同士が「仲間」としていつでも連絡できる関係性を築くためのきっかけとすることが出来ております。



軽トラ市inゆきしん部

軽トラ市にゆきぐに信用組合も「軽トラ市inゆきしん部」として出店をさせていただきました。ゆきしん部は、毎年職員全員が書く「私の夢作文」から事業として取り上げられ、今年のメイン事業の1つとなりました。今後もゆきしんは、地域のイベントに積極的に参加し、地元を盛り上げてまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する取組み

■ CDP 既存融資取引先、「6ヵ月先行自己査定」

「特殊プロジェクト・準プロジェクト」先の支援

経営者との信頼関係をもとに、既存事業の存続性をシビアに判定しなければなりません。時には、半ば強引に「押し出したリ」、「引き上げたリ」と向かうべき方向をしっかりと指し示すことが重要になります。当組合が以前、赤字体質を克服できたことをもとに、お客様の実態を把握し、一体となって取組んでいます。お客様の事業の悪化（赤字経営）を防ぐことが目的で、赤字体質からの脱却を意味しています。具体的な取組内容は、1『売り上げの細分化』2『不採算部門の見直し』3『単価の引上げ』4『業者向けから個人向けへの転換』5『取捨選択と集中特化』6『先手先行管理』7『やると決めたら必ずやる』8『無理はしないで休む時は休む』9『経営者の方針は、全社員に伝えて社員のベクトルを合わせる』などです。

ゆきしんは、「事業者支援」で必ず成果を上げるべく取組み、実績を上げることで取引先も当組合もよくなることを実現してまいります。



■ 顧客保護に関する取組み



■ 地域安全見守り隊

ゆきぐに信用組合は、7自治体と「暮らしやすい“まち”づくり」に関する連携協定を締結しました。連携協定の具体的な項目の一つとして、高齢者の交通安全と防犯見守り、小中学校児童生徒の登下校時の交通安全と防犯の見守り、交通インフラの損傷、鳥獣出没に関する情報の収集と提供を目的に「地域安全見守り隊」を結成しております。今後も地域の「安心安全」なまちづくりに貢献してまいります。

■ スマホの日

6月14日(金)より毎月1回、ゆきぐに信用組合の職員がスマホ操作のお悩み事を解決する「スマホの日」を実施しております。今やスマホは必需品となっていますが、「使い方がわからない」「今さら人に操作方法なんて聞けない」といった声をお聞きしておりました。そういったお悩みを少しでも無くしたいと思いこの取組みを開始いたしました。今後もお客様の悩み事に耳を傾け、全力でサービス向上に取り組んでまいります。



■ 特殊詐欺防止訓練

9月3日(火)に南魚沼警察署と十日町警察署、にご協力いただき、特殊詐欺訓練を行いました。近年急激に増加している特殊詐欺について、お客様が被害にあわないよう犯罪を想定した対応を学びました。

今後も防犯についての環境づくりや職員一人一人の意識づけを行い、お客様が安心してサービスをご利用できるように取組んでまいります。

■ 文化的・社会貢献に関する取組み

コンパクトごみハウス贈呈式

連携協定の第一弾として、4月15日に湯沢町・4月19日に十日町市にて、当組合オリジナルの「コンパクトごみハウス」を無償で贈呈いたしました。

折りたたみ式の移動可能なゴミハウスは、現在ご利用いただいている地域の皆様から大変好評をいただいております。今回贈呈させていただいた地域の皆様のお役に立てることを心から願っております。ゆきしんは、今後も地域の方々と対話を重ねながら、地域の役に立つ取組みを積極的に実施してまいります。



■ SDGs宣言への取組み



ゆきぐにの未来基金

信組ゆきぐに奨学生

思い出づくり日帰りツアー

このバスツアーは、郷土愛を育むとともに「奨学生に親子で忘れられない思い出を作してほしい」という職員の夢から実現したツアーです。奨学生とその家族が参加し、企業見学や名所観光を実施しております。地元企業3社の説明と見学を行ったほか、まつだい農舞台、津南ひまわり広場、道の駅 さかえ、ザ・ヴェランダ石打丸山など観光名所を訪問しました。

ゆきぐにの未来基金

信組ゆきぐに奨学生

地元企業見学ツアー

地元企業を知り、将来の職業選択の参考にしてもらうことを目的に、ゆきぐにの未来基金・奨学生、卒業生を対象に地元企業見学ツアーを実施しました。6社の企業を訪問し、社長の体験談や説明を受け、地元企業の活動内容を見学しました。



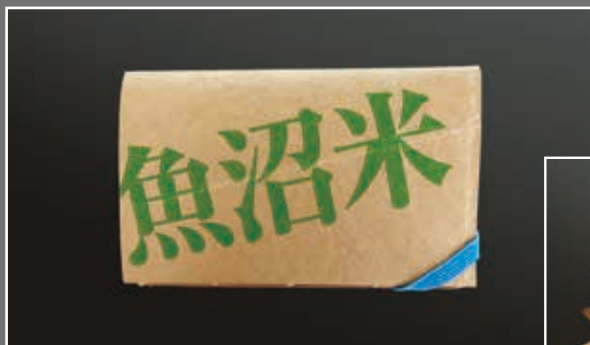
2024 The first half of the year 2024年度上半期 業績のご報告 DISCLOSURE

米袋ブローチ・米袋名刺入れ

「コシヒカリ」の産地として、県内外に広くPRする役割を果たす他、当地内においても大きな話題性のあるものです。

米袋ブローチは以前から南魚沼市長も着用しております。

中には、本物の「南魚沼産コシヒカリ」の新米が5～6グラム入っており、透明な窓から中身が見えるのがポイントです。



幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

ホームページ <https://www.yukiguni.shinkumi.jp/>
メールアドレス shinkumi@pluto.plala.or.jp

公式HP



公式LINE



本部
しんくみセンター

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1221番地4

TEL (025) 782-1201(代)
FAX (025) 782-4063

本店

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1198

TEL (025) 782-1151(代)

石打支店

〒949-6371 新潟県南魚沼市関1124番地1

TEL (025) 783-2962(代)

五日町支店

〒949-7101 新潟県南魚沼市五日町387番地1

TEL (025) 776-2691(代)

津南支店

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3

TEL (025) 765-3125(代)

小出郷支店

〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田547番地15

TEL (025) 792-7766(代)